

社内報

第25号 発行日 平成24年1月15日

深 緑

創刊：平成20年1月31日
発行所：大成運輸株式会社
編集：運行管理部

平成24年度新年会 深田社長 年頭挨拶

1年間社員の皆様大変御苦労様でした。

新春を迎え皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は3月11日の関東東北大地震や9月の台風12号、また海外ではタイの洪水と、近年稀にみる大災害の年でした。そんな中、当社の数字は23年度売上高で32億6,400万円、対前年比115%強、金額4億4,000万の増収となりました。

しかし昨年の社内報「深緑」にも書きましたが、目的地である黒字には到達出来ませんでした。その負の要因については一昨年と比べ燃料費が約5,000万のコスト増、大手取引先の料金改定で約6,000万の収入減があり、二つ合わせると1億1,000万の負担増になりましたが、皆さんの取り組みや協力のお陰を持ちまして最小限の赤字で済む結果になったと思います。本当に有難う御座いました。今期も前年以上に効率化を進めて行きますので協力をお願い致します。

先程、一昨年の数字から4億4,000万の増収と言いましたが、これは車両規模40台位の運送会社の売上に当たる分です。ただただ、皆さんの力は凄いと痛感するばかりです。これも日頃の皆さんのお客様に対する品質向上の取り組みの結果だと思えます。

また最近大成運輸という会社は私達が思っている以上に世間に認知されていると特に思います。しかし残念なことに昨年数件の運転に対するマナーのクレームがありました。それだけ大成運輸は社会に知られていると思って安全運転に心掛けて運転して下さい。

昨今の運送業の取り巻きについては、平成2年からの経済的規制緩和で同業者の増加がここ3年前から減少して来ている事や赤字企業が7割を超える等、経営的に厳しい業種だと理解して下さい。ちなみに昨年の4月～9月までの上半期の統計では、前年比で4倍の倒産ペースだそうです。

当社の課題として社会的規制の強化でコンプライアンスの重視、労働条件の改善等やるべき事は沢山ありますが、矛盾した中で収支のバランスを取りながら加速して行きますのでご理解をお願い致します。これは私たち大成丸が未来へと航海し続けるためのものと思って下さい。

この厳しい環境の中、何とか活路を見つけ出し、盤石の経営体制を築くためにはみなさんの協力が不可欠です。皆さんで築きあげた品質を最大限活用して、今まで以上にお客様や社会からの信頼を勝ち取り、安全で安心できる輸送体質に変えていきましょう。

最後に今期から経営理念を若干変えました。

大成運輸株式会社 § 経営理念 §

『運輸の使命に徹し、社員の幸せを通して社会に貢献することである』

今年一年、仲間と共に頑張ってください。

代表取締役 深田栄治